



さいたま市
シニアユニバーシティ
大宮中央校第 12 期校友会
発行者 原田 信政

創刊にあたって

1 2 期会長 原田信政



ネット時代に逆行するようですが、多くの会員とできる限り情報を共有したいとの思いで、このたび「ふれあい 12」広報誌を創刊することになりました。

5 月の新聞にこんな記事がありました。「希望・年齢・健康の三者は密接な関係にある。」また、「米・英・中国とも調査対象の 25%以上が多く多くの友だちを持っている。」とのアンケート結果ですが、日本は 8% だそうです。

一般的に高齢で病気がちな人は希望を持ってません。大事なことは、多くの人とのつながりによって新鮮な発見や気づきをもたらされ、それが希望につながる人が多いということです。

校友会活動は、自分と違う情報を持っている人、自分の知らない世界を経験している人に巡り合えるチャンスです。

今年 1 2 期会員は 49 名で、諸行事の参加者は概ね 30 名超です。これからも各種イベントに事情の許す範囲で参加され、多くの仲間と絆を強め且つ仲間から多種多様な刺激を受け、希望溢れたシニア生活を送られますことを期待しています。

平成 27 年度 12 期行事予定

(詳細はホームページ参照)

- 9 月 28 日 (月) ウォーキング大会 (主管 11 期)
- 10 月 1 日 (木) 赤い羽根共同募金 (主管 13 期)
- 10 月 6 日 (火) グランドゴルフ大会 (主管 7 期 10 期)
- 10 月 22 日 (木) 親睦ゴルフ大会 (主管 9 期)
- 11 月 5 日 (木) J R 施設見学 (12 期)
- 1 1 月 下旬 シルバー作品展サポート (主管未定)
- 11 月 24 日 (火) 文化講演会 (主管 12 期)
- 12 月 3 日 (木) 筑波宇宙センター見学 (12 期)
- 12 月 9 日 (水) 文楽鑑賞会 (主管 6 期)



ウォーキング大会



グランドゴルフ大会



赤い羽根共同募金活動



筑波宇宙センター見学

- 1 月 中旬 成田山初詣 (1 2 期有志)
- 2 月 4 日 (木) 国会本会議傍聴 (主管 8 期)
- 2 月 19 日 21 日 23 日 文化祭・作品展 (連合会)
- 2 月 21 日 (日) 文化祭・芸能発表会 (連合会)
- 2 月 25 日 (木) 1 2 期懇親会 (12 期)
- 3 月 中旬 さいたまマーチ参加 (連合会)



成田山初詣



文化祭芸能発表会

H27年度協議会 学習会（新日鐵住金君津～鋸山～和蔵酒造）



2015.7.7 鋸山 日本寺（日本一の大仏） シニアユニバーシティ大宮中央校12期・13期

7月7日7時28分参加者136名（内12期26名）は3台のバスに乗車、恒例となりつつある、

シーノ横を定刻前に出発。首都高に上がり、荒川を渡ると常態化している板橋料金所手前で渋滞。しかし大橋ジャンクションの完成により竹橋ジャンクションは難無く通過。9時「海ほたる」に到着トイレ休憩に入る。アクアラインの開通により房総半島も本当に近くなったと感じる。休憩時間を利用し5階のデッキ

に上がるもガスで遠望出来ず残念。

10時過ぎ鋸山・日本寺到着。日本一大きい「大仏」および「百尺観音」にお参りし記念写真を撮る。「日本寺大仏」は衣の彫り方や周りの地形が鋭角的なのに対し、国東半島の田原山＜別名鋸山＞にある熊野磨崖仏とは全く異なった点が印象に残った。時間と参加人数の関係から「山頂展望台はカットとなる。

12時すこし前昼食処に到着、保田漁港にも近いので新鮮な海の幸を皆さんも期待されていたのでは・・・残念・・・でも会費的には無理ですよ。

午後は本日のメインである「新日鐵住金君津製鐵所」を見学。ひろーい案内所にて所内概要説明を受け、赤いヘルメットおよび白手袋を装着し再びバスへ。6Km離れた圧延工場へ向かう途中には鋼管ヤード横を通り、銑鉄を運ぶトロープカーや大型トレーラーとすれ違う。更には、高炉から茜色した銑鉄がトロープカーへ落とし込まれる所を見てやっと圧延工場の中へ。中へ入るや高温と騒音にはビックリ。凄い速さで圧延されつつ半製品の鉄が我々を追い越していきコイル状の薄板製品となっていく。このスピードには驚嘆するばかりであった。しかし最初はドロドロに溶けた銑鉄をどの様にして板状にするのか不思議でならない（質問をし忘れた）。又製品完成までの「移動工程」がものすごく長いと感じられた。これも受注生産の宿命か見学終了後女性群からの質問も多く、関心も高かった様だ。時代は変わろうとも「重厚長大」で嘗ての「産業の米」はまだまだ健在なり。

最後は和蔵酒造に立ち寄りお目当ての試飲で喉を潤し帰路に18時30分過ぎ無事大宮着。

皆さんお疲れ様でした。今夜は、土産に買った千葉の地酒と魚の干し物を肴に一献・・・

（大村）記



2015.7.7 新日鐵住金（株）君津製鐵所見学 シニアユニバーシティ大宮中央校12期・13期

1 班

2015 年班活動



今年度 3 回目の昼食会を 8/27(木)大宮駅東口すずらん通りにある銀座ライオンで行いました。

班 9 名のうち、参加者は 3 名が都合により欠席、女 3 名、男 3 名の参加で、今後の校友会行事予定等の打合せを行ないました。

また、次回の食事会の約束が出来たところで、丁度時間となり散会となりました。

金井記



(右のカットは 5 班岸野さん作)

2 班

久しぶりに食事会

5 月 25 日班長も変わり始めての食事会が開かれました。場所はのびのびプラザ前寿司屋さん「堺」での昼食会です。

参加者は一人欠席の女性 4 名、男性 6 名です。久しぶりの食事会でお酒も進みました。今年度は西野さんが班長です。今までそんなに会合も無かったので旧の班のメンバーがどうしても話し相手になってしまいます。食事会だけではなく親交を深めるために何かいい案はないだろうか思案中です。一番の解決策は、班の皆さんがクラブ活動や行事に積極的に参加していただくことが自然とコミュニケーションが深まり班活動も参加することになると思います。皆さん各行事に参加しましょう。ご協力お願いします。

河本記



3 班

「昼食会は体調の話」で



6 月 25 日、3 班恒例の昼食会を大宮駅東口「山家」にて開催。9 名の参加、久しぶりのメンバーも元気な様子でまずは安心。近況報告は自分や家族の体調、健康の話で盛りあがる。

お店は、明治 5 年創業のうなぎ・てんぷら料理の老舗です。リーズナブルなランチを注文。うなぎは申しわけ程度のサイズでしたが、元気がでるような？気がしました。

月 1 回の食事会で、食べながらおしゃべり。くだらない話やバカ話たまに真剣な話もありますが、みんなに聞いてもらって、終われば気分が晴ればれ。

そんな食事会になればいいと思っています。

岩橋記

4 班

えにし
縁を大切に

私たち 12 期 4 班 9 名の紹介をしましょう。私たちは平成 24 年にシルバー大学に 9 班 9 名で入学しました。1 年後、誰言うことなく、全員揃って大学院に進級しようということになりました。そのため、他の班はメンバーが変わるなかで、わが班だけは大学院の 4 班として同じメンバーで学ぶことができ、無事昨年卒業しました。

この結束力の強さを自慢したいのですが、どうも結束力は強そうにもありません。

逆に大変個性的なメンバーの集まりなのです。例えば、A さんは一番の年長者なのですが、すごい力持ちです。福祉センターでピアノを移動させるとき、数名の男性の前で、ピアノの片方を一人で軽々と持ち上げて台に乗せたのです。一同びっくりしていました。また B さんは旅行手配のプロで、わが班の伊豆、横須賀、成田などの懇親旅行はすべて世話をさせていただき、安い費用で内容の濃い旅行を楽しみました。C さんは女性ながら（失礼）ゴルフがうまく、下手な男性はかないません。D さんはボランティアで施設を訪問し、踊りなどで入所者を楽しませています。こういった個性あふれるメンバーを取りまとめているのが、班長の E さんです。

すごいところは、自分の考えを皆に強制しようとせず、皆の意見をよく聞いてうまく全体をまとめ、必要な時に方向性をきちっと出すという素晴らしいリーダーシップの持ち主です。その人柄ゆえにメンバーから絶大な信頼を得ています。それが全員進級といった結果を生んだのではないのでしょうか。

これからも、シルバー大学では育んだ縁（えにし）を大切に暮らしていきたいと思っています。

横手記



5 班 岸野さん作

川崎工場夜景探検を満喫

5 班



梅雨の最中で曇り、雨も降るかもとの予報は運よく外れの晴天。6 月 20 日午後 4 時 50 分丸の内南口発はとバス「川崎工場夜景運河探検クルーズ」に、5 班全員 9 名 + 他班 1 名の計 10 名が参加。

車窓からレインボーブリッジの絶景を見ながら、シェラトン・グランデ・トーキョウベイ・ホテル

へ。同ホテルで約 1 時間余り西洋料理・中華料理のバイキング料理を思い思いに堪能。バスは羽田天空バス棧橋へ。双胴船・無蓋・44 人乗りの小型船で暗くなった多摩川へ。羽田空港から赤青の灯を点滅させながら夕闇が濃くなった空へ飛び立つ景観は、このツアーならではの圧巻。多摩川河口手前から運河へ。夕暮れの星空と夜景は素晴らしい。多摩運河、千鳥運河の河岸の夜景に見惚れながら、水江運河岸の一際目立つ東亜石油京浜製油所へ。鉄塔の赤い炎、赤色灯、煙突からの噴煙、そして警備のための照明に一同歓声。

縦横にはり巡らされた運河、その河岸に建つ工場群、それに装備された照明灯の芸術に酔いしれた 90 分の探検を満喫した夜でした。

（文 芳尾、写真 逢坂）





史跡巡りA

クラブ活動

4/16 史跡巡りA こくぶんじ恋の道



「美しい日本の歩きたくなるみち500選」のコースを13名で堪能。

西国分寺駅南口から続く道は、史跡通り・武蔵台遺跡敷石住居跡（約4,000年前の縄文時代住居跡）から伝鎌倉街道へ。約120m位ですが、鎌倉街道の上野（群馬県）信濃（長野県）へ向かう主要道路であったとこのことで、静かな切り通した歩道は

当時の雰囲気を感じさせます。

保育園児が元気に遊ぶ芝生横から武蔵国分尼寺跡、JR武蔵野線高架を潜って武蔵国分寺跡僧寺金堂跡、七重塔跡、万葉植物園、国分寺へ。各史跡は天平の文化（約1,300年前）を偲ばせてくれます。万葉植物園の植物を例歌にした万葉集歌の展示には、見惚れました。遅咲きの八重桜しだれ桜が見頃。

史跡の駅「おたカフェ」で休憩。新緑の木々と青空がまぶしく、一同暫く至福のひと時。休憩後は、江戸時代に徳川家の御鷹場だったことに由来する小路「お鷹の道」の清流を楽しみながら、木漏れ日が揺れる崖線を上り武蔵国分寺公園を通り西国分寺駅へ。

公園で運動している男性の身の上話に同情し4名がはぐれるハプニングもありましたが、天平・鎌倉の文化を学び新緑の春を楽しんだ満足な一日でした。（写真・記 逢坂）



史跡巡りB

4/10 史跡巡りB「高麗郷と巾着田」

やや肌寒い曇り空、午前9時豆の木に集合、参加者は8名。JR川越駅を經由し高麗川駅にて下車。まず目指す先は高麗神社です。朝鮮半島、高句麗からの渡来人によってつくられた高麗郡は来年2016年で1300年祭を迎えます。このために高麗神社の本殿は現在改修工事が行われていました。神社裏には高麗家住宅があり名木のしだれ桜は残念ながら花は散っていました。聖天院（高麗神社の祭神、高麗王若光の菩提を弔う寺院）を經由し約30分のウォーキングで巾着田に到着。



目に入ったのは一面に広がるまっ黄色の菜の花畑と



土手をめぐる桜の並木、桜は満開の状態でした。(ラッキー!)
目の前の菜の花と桜の花のコラボレーションを満喫しながらメンバー8名は、東屋で昼食を楽しんだ後、帰路に付きました。

巾着田は秋の曼珠沙華もいいですが、春の菜の花と桜もいいものですよ。

岩橋記

カラオケクラブ通信



7月7日 七夕の夜、キラキラ光り輝く当クラブのスター達が某所に集い、歌会を催しました。ステージでは個性的で芸達者なイイ男、イイ女が、製鐵所の高炉の炎のような燃え上がる想いと「ジャパニーズ酒」の芳醇な香りを漂わせながら、サブちゃん、ひばりちゃん、裕次郎等の

名曲を次々と熱唱しました。

それらの歌声はとても素晴らしく、天の川の彦星と織姫星に届くようでした。本当に素敵な楽しい大人のひと時でした。

それでは皆様、Good・Night!!

追伸 医師は、歌と笑いは体に良いと言います。私達は、カラオケクラブが〇〇オケクラブにならないよう健康に十分留意して、今後も楽しく活動していくつもりです。

宮沢記



楽真会 7月例会

7/23~24 一泊二日でジュンクラシック C. C にて



7月23日~24日、一泊二日でジュンクラシック C. C にて楽真会を開催

前日までは台風の影響で豪雨の予報。万一、雨で中止になっても一泊で楽真会仲間と寝食を共に出来る事を楽しみにしながら早朝に出発。前夜まで降っていた雨が嘘のように晴れあがり好天気恵まれスタートした。前日の雨と暑さの為、腕の毛孔から汗と塩が噴き出る程の蒸し暑さ。二日間とも熱中症の心配をするほどの酷暑のもとでプレー。終了と同時に誰かが「終わってほっとした」という言葉が漏れるほど。

ゴルフ場は戦略性に富んでおり、グリーン周りには深いバンカーが構え、ラフも深く、さらに砲台グリーンとスコアアップに苦しんだ。

しかしジュンクラシック CC は他ゴルフ場ではありえない茶屋毎にソフトドリンク類、アイス

氷のフリードリンク制。西洋風のクラブハウス、合掌造り、茅葺吹き茶屋と和洋を取り入れた建造物。従業員は明るくサービス精神旺盛。一度は話のタネとしてお薦めできるゴルフ場である。今月、幹事で体調を崩し、止むを得ず欠席した関口さんに感謝、シェイ、シェイ。

さて合宿での最大の楽しみであるノミニュケーション。楽真会は普段でも和気あいあいなメンバーだが、アルコールが入るとさらにヒートアップ。ゴルフプレー、ホビー、家族等の談義で大盛り上がり。本当に楽しく、お互いが胸襟を開ける仲間である。

部員募集：このような楽真会に是非入部して下さい。お待ちしております。

最後にこのゴルフ場はゴルフ界に貢献し、レゼンドと言われ、サンドウエッジを開発したジーンサラゼンを記念して 1977 年にプロトーナメントがスタート。初回は青木功が優勝、以降名だたるプロが優勝し、1999 年迄 20 回連続いた有名なゴルフ場である。

笹谷記



5 班 岸野さん作



6/8 日光霧降高原大山コースハイキング

今回の行き先は霧降高原大山ハイキングコースです。最初は集合時間 8 時 40 分頃でしたがいろいろあり 1 時間早くしました。それと、下見ができなかったこともあり詳しいことがお知らせできませんでした。そんなこともあり、参加者が最終的には 5 名になりました。



春日部駅から快速で東武日光駅に到着、天気は曇りバスでニッコウキスゲ平に到着。

標高 1400m 風が冷たい。ここから階段を上り丸山頂上まで約 1500 段を登るコースもあります。今回は霧降の滝まで下っていくコースです。途中牧場の中の大山に登り次に猫の平を登り今度はマックラ滝に向かい急な下り坂を進みます。滑りやすく大変でした。玉簾滝を見ながら沢を横断して、ようやく「つつじが丘バス停」に到着、タイミングよくバスが来て東武日光へ。下今市から特急「きぬ」で帰路につく・・・電車の中での「お酒」は美味しいのだ！！



河本記

随筆

ジーンズとアメリカ文化

アメリカとは永い間、生活・文化面・技術・貿易など、大国の傘の下で交流してきました。その結果、日本人の生活や習慣に異質な変化が根付きました。その一つに「ジーンズ着用」があります。

昭和 40 年代ごろまでの女性の衣装の定番は、水玉模様などの涼しげでしゃ



れた「ワンピース、スカート」だったイメージがあります。

いまや女性の内着の 9 割、外着の 6 割はジーンズ姿に変わりました。

理由を推測してみますと、「多少ほころびても繕う必要はない（新品をグラインダーで傷つける傾向）、アイロンが不要、洗濯を手抜きしても目立たない、機動性はありそう、丈夫で安い？」。しかし、他人事ながら気にかかる面もあります。

夏、冬、合物の衣替えができるのだろうか。きつくて蒸れないか、生地色が限られ、ファッション性にかけるのでは。1997年に65歳で亡くなった美声歌手「中原美佐緒さん」は歌っています。「フルフル フルフル 絹ずれの音……」。ふわっと緑の風にゆれる上品なスカートの姿が目につかびます。

時代は30年サイクルで変わるようです。

たとえば、情報伝達も「手紙」から「メール、スマホ」などが全盛となりました。手紙では返事待ちの余裕が「10日以上」あったはず。現在のメール送信では、即レスポンスがありませんと、腹を立てるほどせせこましくなりました。（文明社会が進むと、人は短気になると言われています）。食生活も深刻な事態になりました。数年前から家庭での「米」の購入金額が「パン・粉類」の購入金額に抜かれました。

アメリカ文化に席卷されたと嘆く人は、老人度が進んだ証拠と言えませう。要は、大局を見誤らない生活意識、「自分の生きざま」にどう弾みをつけて切り開くか、が求められそうです。



千木良記

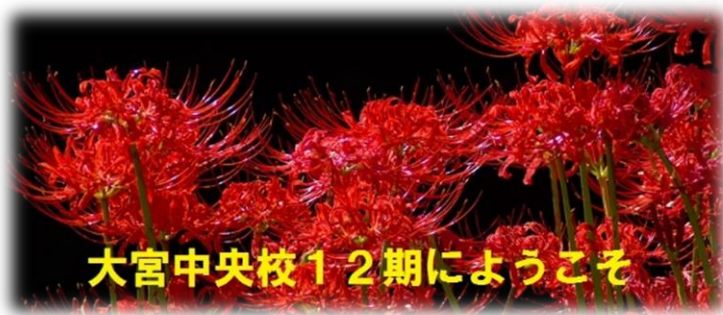
編集後記

会員皆様のご協力のおかげで大宮中央校第 12 期校友会の広報誌「ふれあい 12」の初版を発行することができました。特に原稿担当者や広報委員の皆様の協力に心から感謝いたします。

実際に作成に取りかかると、思い通り行かないところもありますが、回を重ねることで改善していければと思います。「12 期会員への情報提供」を中心に面白い広報誌を目指したいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

もっとホームページを 見てみよう

右の画像は大宮校 1 2 期のホームページの巻頭の画像です。広報誌では掲載できない色々な情報を発信しています。



スマホ等ご持参の方は左のQRコードを読込んで簡単にホームページを見ることができます。この機会にホームページを見てみませんか？



右は 5 班岸野さん作

